

## 協議会だより

平成25年1月1日発行

■発行 第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会／会長：高見澤忠明

■編集 総務広報部会 広報委員

## 本年もよろしくお祈いします！

第五地区の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

昨年は、『第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会』の事業に格別のご支援をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

一昨年3.11の東日本大震災では、東北地方をはじめ甚大な被害を被り、また、地球温暖化の影響か、大型台風・突然の豪雨・竜巻などにより、各地で洪水・山崩れなどの被害が多発しました。

第五地区としましても、防災・減災に関して栄村の震災被災地を視察研修し、中御所では地区防災訓練を実施しました。また、岡田町ではDIG（図上訓練）で、災害時に河川の氾濫の恐れのある危険な場所などを地図に書き込み情報を共有し、地域の特徴を把握して災害に強いまちづくりに取り組んでおられました。いつ襲われるかわからない災害に備えるために、多くの方が参加して定期的に訓練を積み重ねることが必要ではないでしょうか。

また、長野駅善光寺口では、2014年末の新幹線金沢延伸に伴い誘客効果を狙い、本格的に整備が進められております。私たちが住む中心市街地が、より賑わいを取り戻して発展することを期待します。

本年は、安全で安心して住める『心潤う豊かなまち』を目指し、地域住民の皆さまの『絆』をより深め、少子高齢化社会を迎え、福祉関係の事業にも力を注いで取り組んでいきたいと思ひます。

どうか本年も住民の皆さまの一層のご支援ご尽力を頂きますようお願い申し上げます。

第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会 会長 高見澤 忠明



## 生涯学習青少年育成部会

## 人権教育研修会

～『身近な生活から考える』～

10月22日(月)、人権擁護委員 宮下英子氏を中御所公民館にお招きして、『いじめ・性による問題など』を講演いただきました。

講師の宮下氏は教職を退いたあと、人権教育に20数年間携わってこれ、ご自身の身近な体験をもとにお話しいただいたため、聞く方も非常に身近に感じられ深く理解することができました。

子どもは親の表情を敏感に感じ取ります。子どもとの接し方の積み重ねによって人格が作り上げられるそうです。子どもの「いじめ」も、日頃の生活の中で大人の様子を見ていて、家ではいけないと言われていることを外で行うのです。テレビでいろいろな場面が放映されていますが、これを視たときに被害を受けている側の気持ちを家族みんなで話し合えることも大切です。また、日本は「へりくだり」の社会風習が長く続いてきましたが、自分の長所・欠点を5つずつ挙げて、たとえ悪いところがあっても良い方に考え直すことを習慣にすると、気持ちの良い社会が創れます。

お互いを見つめ合って楽しく生きていくと、「あなたのお蔭です」の精神が生まれ、人権問題がより身近に考えられるそうです。



## ノルディックウォーキング

～生活習慣病予防対策に～



10月20日（土）午前中、相生橋から上流、白岩対岸の緑地公園までの往復約3.5kmを約20名の住民の皆さんの参加で実施しました。

夏に引き続き5回目を迎え、大塚インストラクターの指導でポールを使ったストレッチで体をほぐした後、白岩の緑地公園花壇脇の広場まで、器用にポールを使い軽快な足取りで向かいました。到着後、ポールを使った遊び、脳を鍛える効果がある運動などを全員輪になって行いました。

ノルディックウォーキングは年齢・性別を問わず気軽に楽しみ、全身の約90%の筋肉を使用する有酸素運動で、エクササイズの効率が非常に良く、中高年の間で静かなブームになっております。第五地区でも裾花川堤防道路でのウォーキングを毎朝の日課にしている方が結構おられるようです。



## 4 地区合同視察研修会

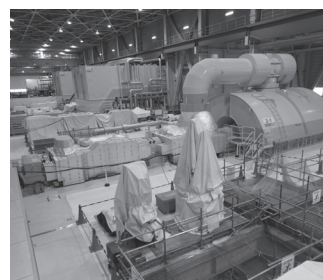
～住みよい社会環境を築くため～



10月29日（月）、第一・第二・第四・第五地区の地区環境委員関係者で環境に関する取組みを深めるため、上越市にある「上越バイオマス循環事業協同組合」と「上越火力発電所」を視察しました。

「上越バイオマス循環事業協同組合」は、家庭・事業所から発生する今まで「ゴミ」として廃棄してきた、生ゴミ・下水汚泥・未利用間伐材・廃食用油などを、再生可能なバイオマスという「資源」として複合的に有効利用するための施設で、地球と未来のために人と自然が調和した豊かな地球環境づくりを目指して取組んでいる状況を専務理事の説明と案内で視察しました。

次いで「上越火力発電所」を視察研修しました。直江津港に隣接する埋立地に平成19年3月に着工し、平成26年5月完成を目指す、熱効率は国内最高水準の発電所です。中部電力の大規模発電所は、従来伊勢湾を中心とする太平洋側にすべて建設されており、長野方面には約300kmの長距離送電線で電力を送っていましたが、日本海側に発電所ができると双方からの送電が可能になり、発電能力は長野県のピーク時の電力のおよそ80%に当たるそうで、電力系統の更なる安定化が期待されます。



## 岡田町 自主防災訓練

～いざという時に備えて～



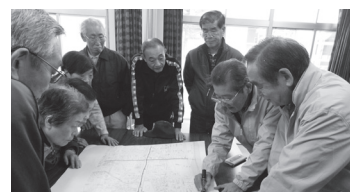
岡田町自主防災会は11月4日（日）、岡田町公民館に長野中央消防局の応援を得て、地元住民・第五地区各町区長と防災関係者の参加で、消火器での消火訓練、消防局への119番通報の仕方、岡田町の地図を使ってDIG（図上訓練）を実施しました。

消火の際は火が完全に消えていることを確認することが重要です。また、119番通報する場合には、落ち着いて正確な場所・名前を連絡し、わからない場合は司令官の問いに教えてください。指令課で詳しく調査して対応してくれるそうです。

図上訓練は二班に分かれて、地図に主要道路・耐震耐火建物・公園や大きな駐車場・河川の氾濫等危険な箇所・災害時に危険になりそうな場所（塀や建物など）を話し合いながら色分けして記入しました。地図に書き込んだ情報を共有し、地域の特徴を把握して課題を明確にし、災害に強い地域に育てる必要があるとのことでした。

いつ襲われるかわからない災害に備え、コミュニケーションを図って訓練を積み重ねること、自分たちのまちは自分たちで守るという意識を持つことが重要とのアドバイスがありました。

各町でも定期的に自主防災訓練を行うことが大切ではないでしょうか。



## 第五地区裾花川河川敷・運動場・広場 清美プロジェクト ～河川敷がきれいに蘇る～



近郊の草木が色づきはじめた11月10日（土）、早朝から長野市の「地域やる気支援補助金」を活用した「裾花川河川敷清美」を、地域住民と地元企業の皆さんの参加で実施しました。今回は5月に清美作業を実施したのに続き2回目となります。

裾花川で熊が出没したこともあり、皆さん入念に雑草等を刈り取っておられ、見通しが良くなり見違えるように綺麗になりました。

なお、長野県も熊対策として、川沿いの両岸に茂っている雑木を切り払ってくれるとのこと。綺麗に清美された河川敷を皆さまの憩いの場としてご活用ください。



## 環境施設見学会

～「ゴミ」は正しく分別を～

環境委員会では11月13日（火）、約40名の地域住民の皆さんの参加で、長野市清掃センターと直富商事(株)市場工場・本社工場を見学し、ゴミ処理に関して研修しました。

まず、松岡にある長野市清掃センターを訪問し、担当者から概要の説明を受けた後、生ゴミ処理の焼却炉・不燃ゴミ・資源ゴミの処理施設を見学しました。

この施設に市内7,000ヶ所から搬入されるゴミは1年間で14万トンになり、この内3/4は可燃ゴミで残りは不燃ゴミと資源として再利用できるものだそうです。可燃ゴミは、1日当たり1基150トン、3基の焼却炉で900℃で24時間操業処理されております。12月と4月は大量のゴミが発生しゴミピットには大量に溜まるそうです。不燃ゴミは瓶・缶とともに資源化施設で処理されます。不燃ゴミはクレーンでコンベアに運び異物抜き出し装置で処理に適さない危険物などを取り除きます。その後回転式破砕機にかけられ、磁選機で鉄・アルミに分けられリサイクルに回されるそうです。缶類も一度磁選機・アルミ選別機にかけられアルミ缶・スチール缶に選別され、それぞれをプレスして、瓶は色別に分別されてリサイクルに回されます。ペットボトル・プラスチック製容器包装は圧縮・梱包して再び商品として生まれ変わる準備をします。1ヶ月に出されるプラスチック製容器包装は300トン、ペットボトルは60トンにもなるそうです。

袋詰めされたプラスチック製容器包装は、袋が破られ磁選別コンベアで人の手によって混在している異物を取り出しておりました。ルールを守り正しく分別する必要性を実感しました。

また、不燃ゴミを出すときは、灯油が入ったままの暖房器具、電池、カセットボンベは収集車両火災につながる恐れがありますので、一人ひとりがルールを守り、注意して出してください。

この後、直富商事(株)市場工場・本社工場を訪問しました。ここでは、市場・飲食店・スーパー・コンビニ・企業などから出される食品・飲料・野菜・果物類・肉類・スチロール・産業廃棄物などを破砕・粉砕・切断・圧縮処理などの行程を経て、それぞれの原料として再利用される行程を見学しました。

須田環境委員長からは、「次回も暮らしに役に立つ施設見学を企画したい。是非ご参加ください」とのことでした。



## 長野駅前交番からのお知らせ

## ～駅前交番が仮移転～

JR長野駅善光寺口（西口）は、北陸新幹線が金沢まで延伸されるのに伴い、駅ビルと駅前広場が大きく変わり、整備工事が始まっております。

駅ビル1階にあった長野駅前交番は工事が完了する平成26年度末まで、現在地から南石堂町の宮本商会（自転車店）さんの東側に仮店舗を建てて移転しました。

【所在地】長野市大字南長野字石堂南1284-4 TEL026-227-0707



# 各町からのお知らせ

## 末広町より 長野新幹線15周年

長野新幹線は長野冬季五輪に合わせて1997年10月に開業しましたが、10月6日に開業15周年を祝い、式典が執り行われました。

阿部知事は「金沢延伸を発展の好機と捉え、新幹線を核に元気になるよう取り組みたい」と述べられました。駅自由通路では、長野商工会議所主催のイベントが開かれ、末広町からは中村理事長や高見澤区長らが出席されました。

東京ー長野間は在来線時代の最短2時間39分から1時間19分へと半分に短縮され、これまで延べ約1億4390万人が利用し、通勤や買い物など生活の足として使う割合が増えているそうです。このように、県民の生活圏が首都圏にまで拡大しております。

2014年度末の金沢延伸も間近に迫り新たな局面を迎え、「首都圏の観光客が北陸地方に奪われる」と警戒する声もありますが、新駅ができる飯山市や新潟県側の沿線自治体と協力して、北陸地方からの誘客強化をにらんだ動きも本格化しております。長野駅善光寺口のバスロータリー広場の整備が本格的に進められ、駅のシンボルとして親しまれている如是姫像は工事終了まで善光寺で安置されております。



## 中御所より 第61回 中御所町民大運動会

10月8日（月）の体育の日、朝からこの秋一番の快晴に恵まれ、幼児からシニアまで300名以上の町民が参加して伝統ある運動会が、裾花小学校校庭で開催されました。来賓の風間県議、高見澤第五地区住自協会長の祝辞の後、ラジオ体操で体をほぐし、全23種目にもわた



る競技が開始されました。幼児から小学生は参加者が多く、全員参加の競技も数多く取り入れられ、長生会の皆さんはじめ全員、趣向をこらした各種目に真剣に見入っておりました。

文部科学省の体力テストの結果、子どもと50歳以上でわずかに体力の向上が見られ、中高年の健康意識が高まっているようです。

少子高齢化時代を迎え、中心市街地では「最近子どもが少なく運動会も開けない」との声を聞きますが、伝統ある運動会が来年も盛大に開催されることを期待します。

役員・関係者の皆さん、事前の準備から運営まで入念にご尽力されお疲れ様でした。



## 岡田町より 第28回 岡田町文化祭

伝統ある岡田町文化祭が11月10日（土）・11日（日）、岡田町公民館で開催されました。展示作品は、社会部書道教室の皆さんの日頃鍛えた書、他に生け花、小学生の絵画、パッチワーク、近郊の里山の紅葉を写し取った写真など力作揃いで、1階の会場に所狭しと展示され、見る人を楽しませてくれるひと時でした。



高野公民館長は「この文化祭は毎年11月の第二土曜・日曜日に開催しておりますので、どうぞ皆さんも鑑賞にお出かけください」とのことでした。

第五地区の活動にご意見、ご提案がありましたら、各町の区長さんまたは、事務局にお問い合わせ下さい。

事務局

〒380-0835  
長野市大字南長野新田町1485番地1  
もんぜんぶら座8階 第一から第五地区合同事務所

TEL 262-1512 (FAX共通)  
メール dai5@feel.ocn.ne.jp